



コール パークおよびディレクテッド コール パーク

コールパーク (Call Park) 機能を使用すると、コールを保留にし、そのコールにはシステム内の別の電話機から応答することができます。たとえば、電話機でアクティブ コールを受けているときに、**Park** ソフトキーを押し、そのコールをコールパーク内線番号にパーク (保留) することができます。システム内の誰かが別の電話機からそのコールパーク内線番号をダイヤルすると、そのパークされているコールを取得できます。

コールパークの詳細については、『*Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド*』の「コールパークおよびディレクテッド コールパーク」を参照してください。

ディレクテッド コールパーク (Directed Call Park) 機能を使用すると、使用可能でユーザが選択したディレクテッド コールパーク番号にパークされたコールを転送できます。設定済みの取得用プレフィックスに続けて、コールがパークされているディレクテッド コールパーク番号をダイヤルすると、パークされたコールを取得できます。

ディレクテッド コールパーク番号は、Cisco CallManager Directed Call Park Configuration ウィンドウで設定します。設定済みのディレクテッド コールパーク番号はクラスタ全体に適用されます。ディレクテッド コールパークの Busy Lamp Field (BLF) をサポートする電話機は、特定のディレクテッド コールパーク番号のビジー / アイドルステータスを監視するように設定できます。また、BLF を使用して、ディレクテッド コールパーク番号を短縮ダイヤルとしてダイヤルすることもできます。

ディレクテッドコールパーク機能の使用と設定の方法については、『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』の「コールパークおよびディレクテッドコールパーク」の章を参照してください。